

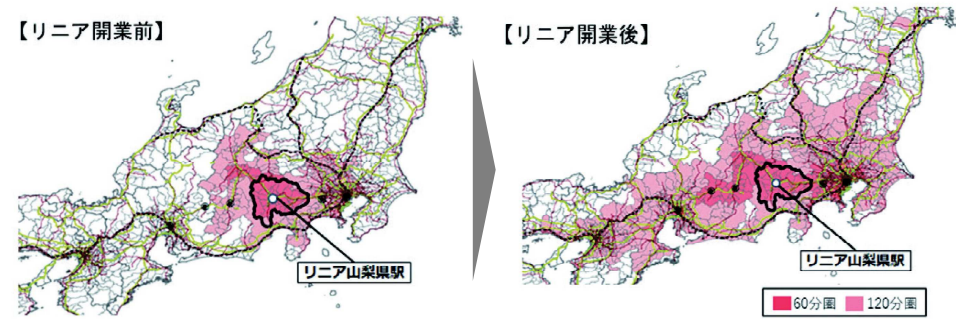
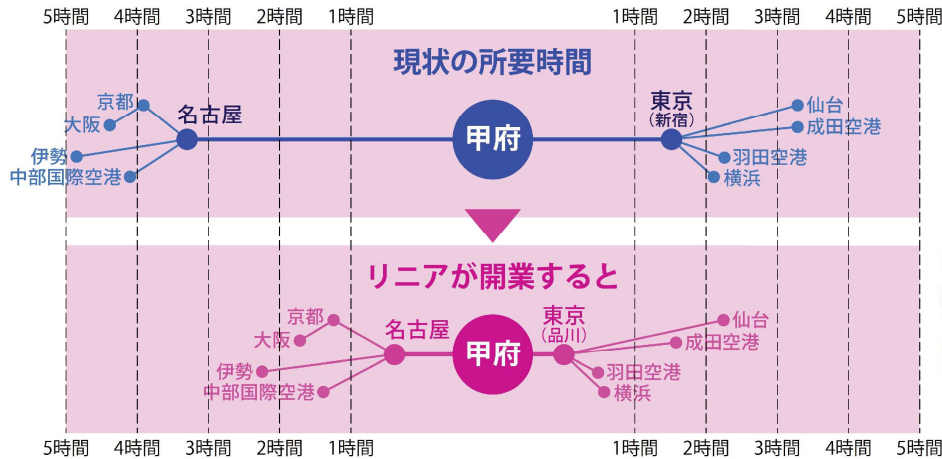
リニア駅前エリアにおける 交通結節機能の整備テーマ

令和2年9月4日

山梨県

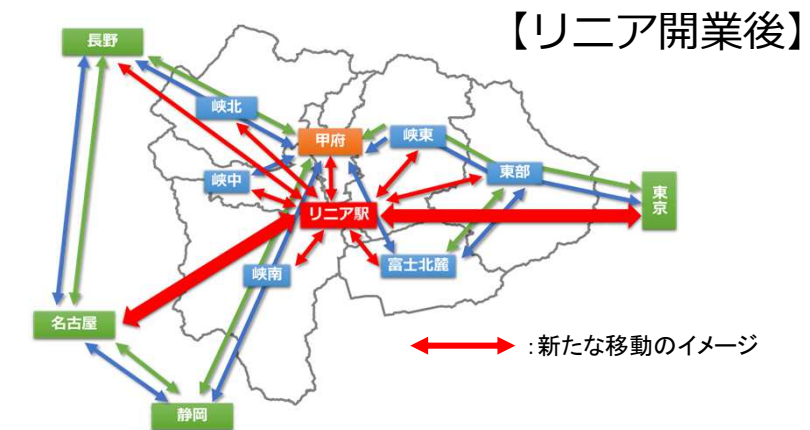
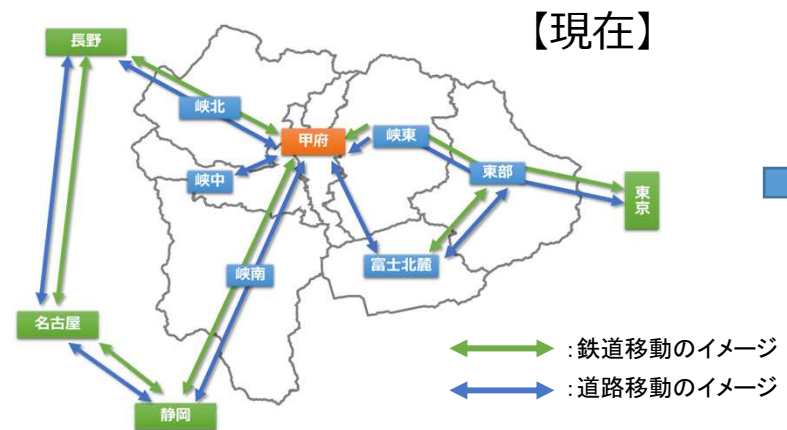
リニア駅前エリアの位置付け

- リニア中央新幹線は、飛行機に匹敵する高速交通機関であり、リニア中央新幹線の開業により、東京圏及び中京圏・関西圏との時間距離が格段に短縮され、多くの人々が山梨県とその他都市圏の行き来をする。



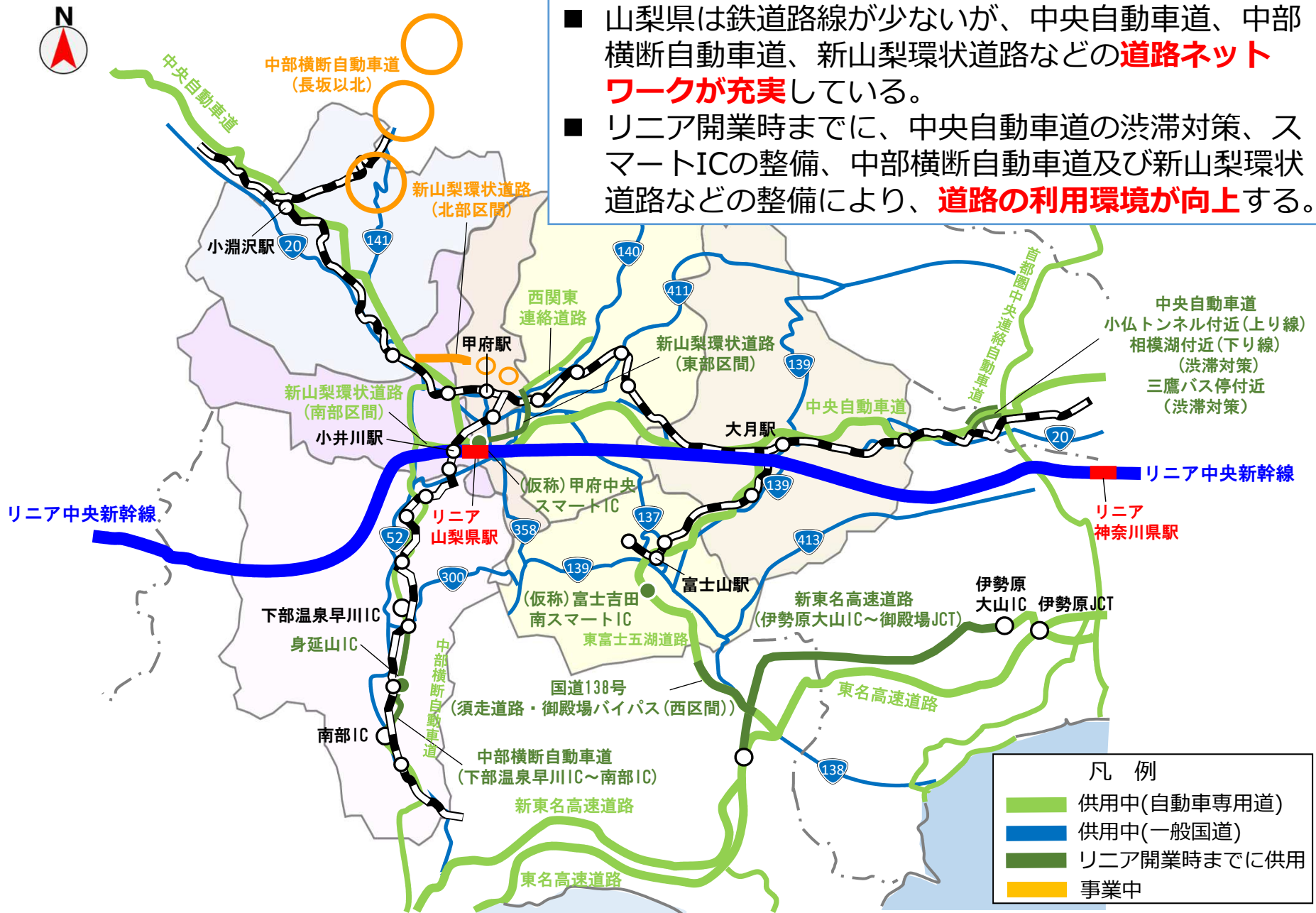
出典：やまなしリニアビジョン

- 現在の交通拠点として甲府駅であり、近隣都県との玄関口及び県内交通のハブとしての役割を担っている。
- リニア駅前エリアは、山梨県の**新たなゲートウェイ**として位置付けられ、より広域的なゲートウェイとして、必要となる交通結節機能の整備を目指す。



リニア開業時における県内交通ネットワークの状況

- 山梨県は鉄道路線が少ないが、中央自動車道、中部横断自動車道、新山梨環状道路などの**道路ネットワークが充実**している。
- リニア開業時までには、中央自動車道の渋滞対策、スマートICの整備、中部横断自動車道及び新山梨環状道路などの整備により、**道路の利用環境が向上**する。



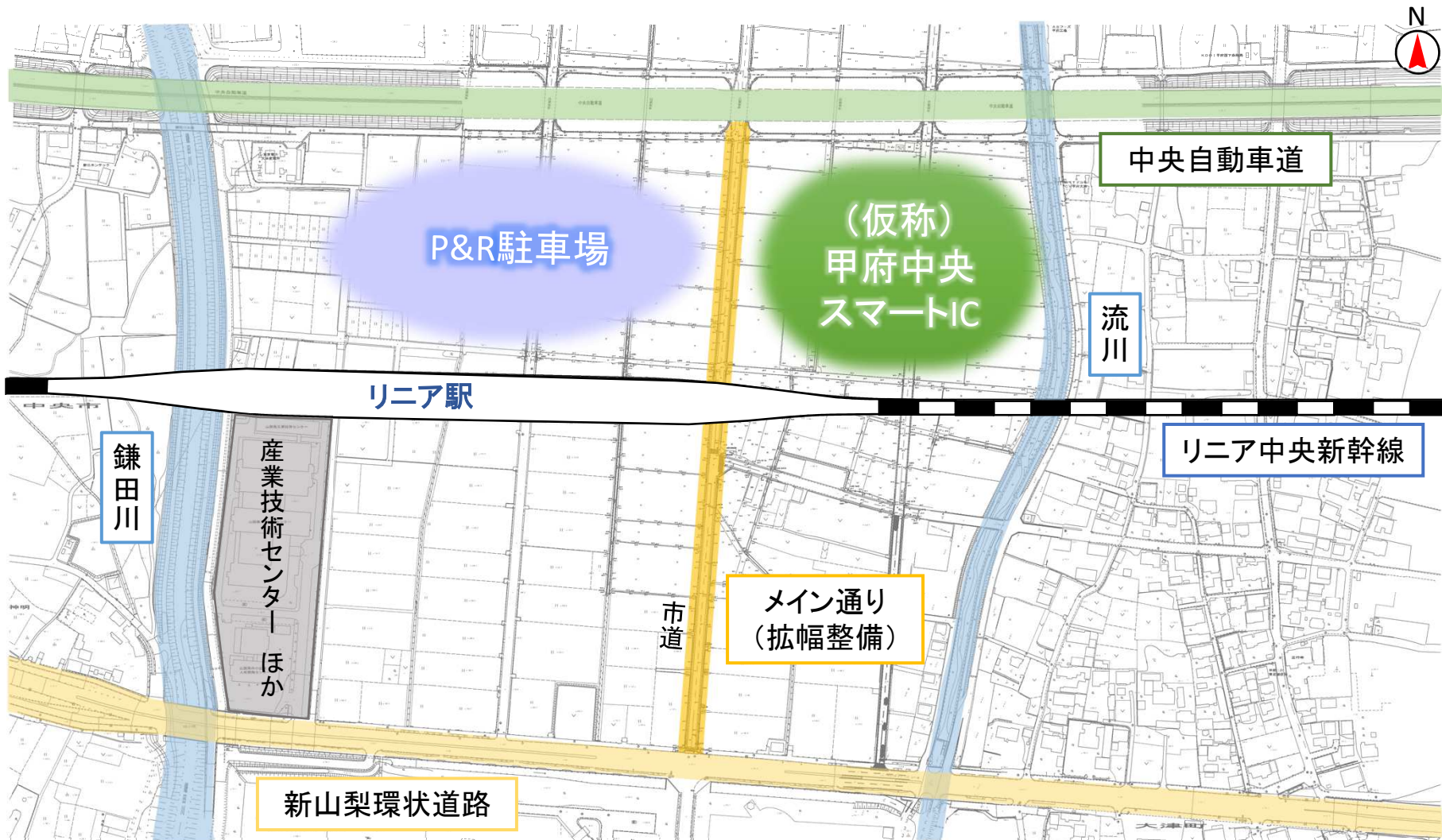
リニア駅の位置関係と周辺交通ネットワーク状況

- リニア駅は、**中央自動車道と直結し、新山梨環状道路、国道358号**が利用しやすい立地であり、県内各所からのアクセスが容易な位置にある。
- 一方、リニア駅は既存の鉄道駅から離れているため、リニア駅と鉄道駅とを結ぶシャトルバス等による接続を図ることとしている。



リニア駅前エリア周辺の状況

- (仮称) 甲府中央スマートICの整備により**リニア駅と中央自動車道が直結**し、また**P&R駐車場**をリニア駅北側に**整備**するため、道路交通の利便性が非常に高い。



リニア駅前エリアにおける交通結節機能の整備テーマ

リニア駅前エリアの位置付け及び立地特性

新たなゲートウェイとしての位置付け

充実した県内道路ネットワーク



【道路ネットワークをフル活用できる立地特性】

- リニア駅は、中央自動車道と直結し、新山梨環状道路、国道358号（新平和通り）が利用しやすい立地であり、県内各所からのアクセスが容易な位置にある。
- リニア駅北側にはP&R駐車場を整備し、自家用車等の利便性が高い。



●交通結節機能の整備テーマ

恵まれた道路条件を活かした交通結節機能の整備